

NIE実践報告

1. タイトル 自分の考えも他者の考えも大切にしよう

2. 学校名

宇都宮市立雀宮中学校

3. 実践者名（代表者名）

松下 俊介

4. 学年

第2学年

5. 教科・領域名および受講児童・生徒数

社会 33名

6. 単元（本時の学習課題）名

「関東地方の産業がどのように各地と結びついているのだろうか」

7. 目標(狙い)

北関東自動車道の全線開通により、関東地方の産業や社会が、どのように各地と結びついていくのかを、地元栃木を中心にとらえ、理解することができる。

8. 評価の視点

交通網の発達により産業が発達し、人と物の流れが変わることで起こる変化に気がつくことができたか。

9. 年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

日本の諸地域 人口や都市・農村を中核とした考察（関東地方） 「社会：4時間」

10. 単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

- ①関東地方の地域的特色（人口の分布、都市や農村の分布）（1時間）
- ②東京都の都市的特色（1時間）
- ③過密の問題点（1時間）
- ④東京都やその周辺での変化（1時間）…本時

（留意点）

- ・北関東自動車道全線開通の新聞記事の見出しより、今後どのような状況になっていくのかを考えさせる。
- ・開通した翌日（平成23年3月20日）の新聞記事が本来ならば、大きく取り扱われるはずであるのに、福島原発事故や東日本大震災の影響で、全線開通の記事が大きく取り扱われなかったことに気づかせる。
- ・生徒が予測した考えを話し合い、自分の考えと、他の生徒との考えや新聞記事の考えの類似点や相違点を見つけることで、自分の考えの練り直しができるように指導する。

11. 児童・生徒の反応、感想・意見

「北関東自動車道の全線開通により、産業や社会がこれから先どのように結びつき形成されていくのかを、新聞報道を通じて見つめていきたい」とまとめている生徒が多かった。

12. 成果と課題

新聞報道は現地の細かな取材などを通じて記事にされていることを生徒が理解できたのは大きな成果である。生徒の身近に感じる新聞記事を用いることで社会の興味を抱かせ、新聞を読む習慣をさらに定着させていくことが今後の課題である。